

Profile

セミナービジネスにおける「集客・収益・継続」という悩みを解決できる名古屋では唯一の「セミナーの専門家」として活動中。現在は「セミナー主催者」や「セミナー講師」の育成に力を入れており、LSPという独自の「セミナービジネスプログラム」にて14名のメンバーを育成している。

●好きな言葉（モットー）：
Just Do It！（今すぐやろう！）



トップセールスの仕事術

vol. 6

Interview With **東橋達矢さん**

株式会社LEGEND PROJECT
代表取締役CEO

メルマガ配信を巧みに利用して 68万円の高額セミナーを販売

セミナーの企画・運営を行う（株）LEGEND PROJECTの2017年度（7カ月間）実績は、セミナー件数150件、集客人数1,232人。それほどの集客力を誇る企業で代表取締役CEOを務めるのが東橋達矢さんだ。セミナー講師とタッグを組みつつ、高額プログラムをやコンテンツを開発し、たった1人で収益を上げてきた、その秘訣や方法をうかがった。

東

橋さんが直近7カ月間で企画したセミナーの数は150件。

これをたった1人で行っているという。さらに驚くことに、1人68万円、6カ月間12回の「セミナーのやり方」をテーマにした高額セミナープログラムを販売し、集客に成功している。

通常、セミナー事業は「有料での集客」という壁がある。5万円の壁、10万円の壁、50万円の壁と、ある一定の金額レンジで集客の難易度も推移するのだ。ところが、東橋さんの場合、非常に高額な68万円という金額でのプログラムを、短期間で実現させている。では、そのような高額な商品が売れるようにするために、いったい何をしているのだろうか？

東橋さんが実践している 見込み客の集客方法とは？

東橋さんは、見込み客を育てるという方法を取るため、まずメルマガに登録してもらう活動を行っているようだ。その集客方法は一風変わっており、一般的なインターネット経由からのメルマガ登録募集ではなく、名刺交換から

登録者を蓄積している。

主に名刺交換をしている場所は、「セミナー」や「勉強会」の会場。「人は興味・関心のあるジャンルを買い続ける習性がある」と、あるマーケティングの権威が語っていたが、すでにセミナーを受講している人ならば、セミナー情報に関して興味・関心がある可能性は非常に高い。

名刺交換後に、メールでメルマガ登録の許可を得て登録するわけだが、実は、このプロセスは非常に有効だ。インターネット経由で登録したメルマガは簡単に解除することができるが、名刺交換した相手のメルマガは解除しづらい。解除ボタンをクリックしようとした瞬間、相手のリアクションが頭に浮かぶからだ。これは、メルマガ登録者を維持するうまい作戦だと思われる。

また、この登録者を蓄積するスピードも目を引くものがある。名刺交換のみでメルマガ会員数を集め、たった4年で2000人もの会員数を集めたそうだ。1週間で10人、1カ月で40人強、そして1年で500人程度の人と接触し、会員を増やしている。名刺交換を

してもメルマガの登録を許可しない人や、お伺いメールに返信しない人もいることを考えると、相当数の接触を行っていることが想像できる。

高額商品を売るために必要な メルマガのコンテンツ

メルマガは、1テーマに絞り約500文字でほぼ毎日配信。構え過ぎず、会話調で親しみやすく書くのがコツだという。そのコンテンツ内容は、主に東橋さんが得た気づきや学びを配信している。「自社セミナーの開催報告と学びの共有」「他社セミナーの参加報告と学びの共有」「日常での気づきや学びの共有」の3つが基本。そして、さらに7対3の割合で「商談内容」と「キャラが伝わるプライベート情報」なども公開している。後者は話のネタから仕事につながる内容でもよいという。

この話を聞いたとき、このメルマガには「アンダードック効果」が働いていることに気がついた。アンダードック効果とは、頑張る人を応援したくなる心理だ。

例えば、毎年、高校野球が昼間の放送にも関わらず巨人戦の視聴率を度々超えるのは、球児のひたむきな姿に心を打たれ釘付けになってしまうから。このことと同じように、東橋さんのメルマガコンテンツも、同じ効果を発揮させているのではないかと考えられる。ひたむきにビジネスマンとして知識を習得し成長し続けている姿が、人間的な魅力を増幅させ、メルマガに引き込まれる力になっているのだろう。

さらに効果を増大させる Plusαのコンテンツ

そして、東橋さんは先述の3コンテンツ以外にも、頻度は高くないが「セミナーで学ぶことの意義」というテーマのコンテンツを配信しているという。なぜセミナーで学ぶことが効果的なのか、なぜ学びが深くなるのか、そして副産物的に生まれてくるメリットなどをメルマガで語っている。いわゆるセミナーに対する知識の提供だ。このコンテンツは先程の3つのコンテンツと融合することにより大きな効果を生んでいると推測できる。